

海外安全対策情報
(平成31年度第1四半期)

在エチオピア日本国大使館

1. 社会・治安情勢

第1四半期（平成31年4月～6月）の情勢は以下のとおり。

- (1) オロミア州ウェレガ地域（西ウェレガ、東ウェレガ及びケレム・ウェレガ）では、依然として武装集団による襲撃事件が断続的に発生している。
- (2) 6月22日、アムハラ州知事等高官が州都バハルダールでの会議出席中に同州政府治安部隊に襲撃され死亡。同日、エチオピア軍参謀長がアディスアベバ市の自宅で自身の警護官に襲撃され死亡。これらの殺害事件を受け、一時的（1週間程度）に国内全域でインターネット通信に規制がかけられた。
- (3) オロミア州とソマリ州、ティグライ州とアムハラ州及びベニシャングル・グムズ州とアムハラ州等の州境沿いでは、継続的に死者を伴う民族間衝突が発生している。
- (4) 1月、隣国ケニアにおいてイスラム過激派組織アル・シャバーブによるホテル襲撃テロ事件が発生。アル・シャバーブはソマリアに拠点があり、当国においても同組織によるテロ発生の可能性がある。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当地における主な手口は以下のとおり。なお、4月頃から、外国人を狙った複数名による首締め強盗が特に多発しているため、早朝夜間の外出は十分な注意が必要である（徒歩での外出は極力控え、近距離であってもタクシー等を利用することが望ましい）。

(1) 強盗事件

アディスアベバ市内において、強盗事件が発生している。早朝及び夜間に徒歩で移動している際に、背後から首を絞められ、抵抗できない状態に追いやられ、携帯電話や財布を強奪する手口が認められる。

(2) 空巢事件

アディスアベバ市内の、特に外交団や外国人の住宅（マンション含む）への空巢被害が増加している。塀のある戸建て住宅であっても、外壁沿いの電柱等から容易に侵入されるケースがある。マンションにおいては、エントランスに警備員が配置されていたとしても、知人を装う等の方法によ

り容易に入館できる場合があるため、住居の選定には十分な配慮が必要である（居所の選定にあたり、警備員の対応要領等を事前に十分確認すること）。

（３）窃盗事件

アディスアベバ市内において、スリが増加している。犯行手口の一例としては、複数名が歩行者に近づき、雑誌等を売る素振りや、服に唾や液体をかける、腕を掴む等して一人が気を引いている間に、他の者が歩行者のポケットから携帯電話機や財布を盗む手口が認められる。犯人は一見して少年風など、若年層が多いと報告されている。

ミニバス（乗り合いタクシー）乗車中も、隣の乗客が液体を浴びせる等し、気を引いている内に携行物を盗んだ上で、社内清掃を装い被害者のみ降車させ、ミニバスごと逃走する事案が認められる。

（４）ぼったくり事件

アディスアベバ市内において、ぼったくり被害が発生している。旅行者が滞在ホテル周辺を徒歩で移動していると、エチオピア人が「自分はこのホテルの関係者だが、いい飲食店を教えようか。」と近づき、「ホテルの関係者」と言われて安心し、勧められた飲食店に入って注文すると、高額の支払いを請求される手口が認められる。

（５）当たり屋事件

車両走行中に牛・羊などの群れに遭遇し徐行した際、飼い主が急に車両前方に近づいて来て、車両に接触した素振りを見せ横転する。その後、警察へ届け出ない代わりに金銭を要求する手口が認められる。その際、車外に出て対応に当たっているドライバーへ周囲の取り巻きが暴行を加えるケースもある。

3. 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

（１）殺人

邦人被害の届け出はない。

（２）強盗等

凶悪犯罪の邦人被害の届け出はないが、邦人が被害者となる戸建て住宅及びマンションへの侵入窃盗事案が２件発生。

4. テロ・爆弾事件発生状況

6月5日、オロミア州東ウェレガのファームランドホテル（Faemland Hotel）近くにおいて手りゅう弾とみられる爆発が発生。これにより当地プロサッカー選手１名を含む数名が死傷。邦人被害は無い。

5. 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の届出はない。

6. 自然災害発生の事例

国内において大きな災害は発生していない。

7. 対日感情

対日感情に係る問題は認知していない。

8. 日本企業の安全に係わる諸問題

6月22日に発生したアムハラ州知事及びエチオピア軍参謀長の殺害事件を受け、即日、突発的かつ期間未定でインターネットが遮断された（7月末現在は復旧）。また、これら事件によりボレ空港の警備が強化される等、企業活動に支障を来す事象は不定期的に発生している。

これらの事象は、当国では政府からの事前通知なく発生するため、活動地域の最新の情報収集や、インターネット及び通信手段が遮断された場合の連絡手段（例えば近隣支店や本邦本社への連絡）を事前に取り決める等の対策が必要である。